



わかくさ

vol.122

TOPICS

- 若弘会理事長 即時対応の実現へ ●
- 受けよう! 乳がん検診 ~若草第一病院はマンモグラフィ検診の認定施設です~ ●
- 眼科 ~地域の皆様の目の健康維持に貢献します~ ●
- ご存じですか? 若草第一病院には7名の社会福祉士と入退院支援看護師がいます! ●



【2023年度新入職研修】※本誌に掲載されている写真について、感染対策には十分配慮し撮影しております。

社会医療法人 若弘会

Wakakouai Health Care Corporation

即時対応の実現へ

社会医療法人 若弘会
理事長 川合 弘高



1月後半のある日の夜、携帯に着信があった。電話に出ると、10年ぶりだろうか？同窓会で会ったきりだった小中学生時代の同級生からだった。「体調を崩したのかな？」と私は少し不安になった。最近、久しく連絡を取っていなかった友人から連絡があるときは、体調を崩し医療に関する相談事か、葬儀の案内が多いからだ。用件は食事の誘いで安心した。小学生時代の幼なじみと連絡が取れ、岐阜から大阪に出てくるので三人で会おうと。岐阜の友人とは40年ぶりに会うことになった。

感動の再会から始まり、3人で小学校の卒業アルバムを眺めながら担任の先生の話や、大好きだった美味しいコロッケ、電車と一緒に乗って大阪市内まで買い物に行った時の事など、昔話に花が咲く。初恋の相手を聞いてもしないのに教えてくれ、意外な名前に少し驚いたりもした。小学校時代の思い出話から近況報告へと話題が移る。

「俺は一度死んでいるんや」と言い出した友の言葉に強い感情が現れる。恐怖を実感したらしい。2年ほど前に急性くも膜下出血で倒れ意識を失い心停止したそうだ。もし救命が間に合わなければ友との再会は出来なかった。担当医への感謝を笑顔で話す友を見ながら、「良かった」と心から思い、支えてくれた家族と対応してくれた医療関係者に心より感謝し、医療サービスにおいて即時対応の重要性を痛感した。

2022年度1月末時点、当法人の急性期、療養・回復期、在宅、各部門での稼働目標計画に対して未達がある。新型コロナの対応による影響が大きい。計画未達という事は、患者さんが求める医療を十分に提供できていない事を示している。従業員は決してサボっていたわけではない。感染対策でマンパワーが削がれる中、精一杯頑張ってくれたことには頭が下がる思いだ。

今すぐに医療を求める患者さんにとっては、病院側の都合は関係ない。患者さんの抱える不安不満の時間は待ってはくれない。

5月の連休明けには感染症法での扱いが5類へと移行しアフターコロナの世の中へと変化する可能性が大きい。医療提供体制のさらなる強化、新興感染症対応・物価高およびサイバーリスクへの対応など、課題は少なくないが時流の変化に適応し、患者さんの求めるニーズに即時対応できる組織作りを進めていきたい。



受けよう！

乳がん検診

～若草第一病院はマンモグラフィ検診の認定施設です～

若草第一病院 診療放射線課

1 マンモグラフィ検診 施設・画像認定とは？

特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構が審査を行い、マンモグラフィ撮影の画質、品質管理、被ばく線量が基準値を満たし、乳がん検診の質の高さを認められた施設に「マンモグラフィ検診施設・画像認定」が与えられます。3年に1度の更新があり、当院では2023年1月1日付けで更新を行うことができました。

2

乳がんについて

現在日本人女性の9人に1人※が乳がんになるという統計があり、年々増加傾向にあります。しかし早期に発見し適切な治療を行えば治りやすいがんのひとつです。乳がんは30代後半から急増しますので、定期的な検診をお勧めします。

※出典：公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計2022」

3

当院の特徴について

当院ではマンモグラフィの認定を取得した女性の放射線技師が4人在籍しており、必ず女性技師が撮影を行います。また検診マンモグラフィ認定読影医・認定施設・認定技師とすべての認定が揃っており、安心して乳がん検診を受けて頂くことができます。



お問合せ先

若草第一病院 予約センター

TEL: 072-988-1409



眼科

～地域の皆様の
目の健康維持に貢献します～

若草第一病院 眼科

皆様こんにちは。令和5年1月から若草第一病院で眼科を担当しております青松圭一と申します。私は近畿大学医学部を卒業後、約20年間大学病院やクリニックで眼科診療に従事し、この度当院に入職致しました。当院には以前に非常勤医師として勤務していたこともあり、見覚えがある方もいらっしゃるかもしれません。これまでの経験を生かして、地域の皆様の目の健康維持に貢献していければと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



●当院眼科の特徴

診療内容は一般眼科診療を主に、しょうたい 瞼や眼表面の病気に対する眼小手術、白内障手術、硝子体内注射などにも対応しております。外来は経験豊富な非常勤の先生方にも引き続きご協力を頂ける体制が整っております。診療に伴う補助や療養上のお世話などは、看護スタッフが心に寄り添ったケアを実践してくれています。また、眼科は検査が多い科の一つですが、眼科検査につきましても検査課スタッフがしっかり担当してくれます。このように患者さんにはより安心して受診頂けるのではないかと思います。

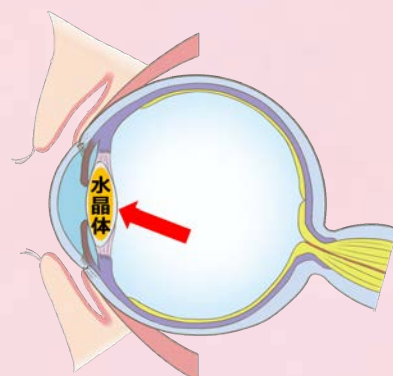
●当院眼科での診療の進め方

初診の方の場合、まずは眼の状態を知るために屈折検査・角膜曲率検査・視力検査・眼圧検査といった基本的な眼の検査を行います。そのうえで医師の診察時に前眼部細隙灯検査・眼底検査などを行い病気の診断を進め、必要に応じて散瞳検査・眼底カメラ撮影・OCT(光干渉断層撮影)・視野検査などの追加検査を行います。

●主な対応疾患と治療

白内障

加齢による水晶体の混濁が主な原因です。早い人では40歳台から始まり、80歳台ではほとんどの人がこの病気にかかっています。視力が徐々に下がり、まぶしさやメガネの度数が変わったりすることもあります。目薬では完全に治せませんので、視力を取り戻すためには手術が必要です。

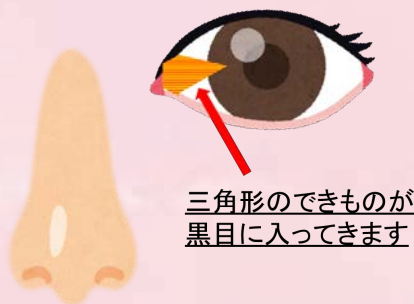


水晶体が濁ってきます

よくじょうへん

翼状片

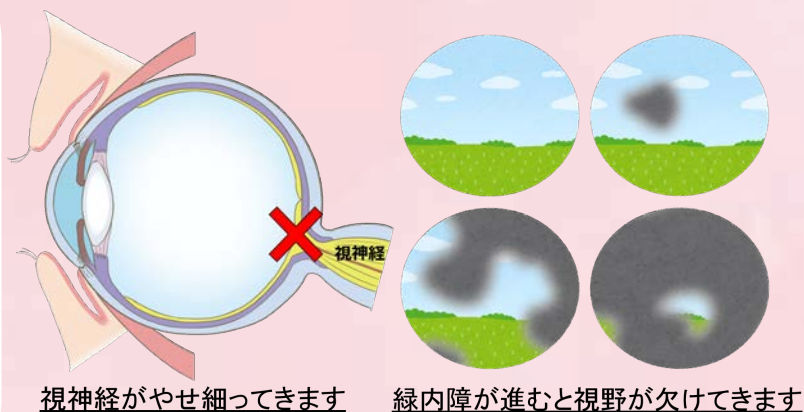
鼻側の白目の部分にできる三角形のできもの(良性腫瘍)です。紫外線や埃の多い環境にいる方にできやすいと言われています。充血しますが外見上問題にならない場合は様子を見ます。黒目に入りますが、どんどん進んで乱視が強くなったり視力が下がったりすると手術で切除します。



りよくないしょう

緑内障

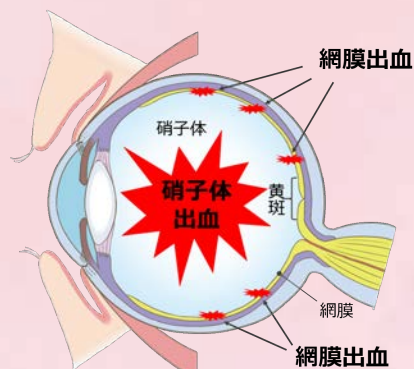
加齢も含めさまざまな原因で視神経がやせ細ってしまい、視野がだんだん欠けてくる病気です。日本では失明原因の第一位がこの緑内障です。発見次第、まずは目薬で眼圧を下げる治療を行います。目薬でも進行が止められなければ、レーザーや手術を行います。欠けた視野は元に戻りませんので、早期発見と早期治療が何より大切です。



がんでいしゅっけつ

眼底出血

眼の底には網膜(カメラに例えるとフィルムにあたる部分)という神経でできた膜がくっついていますが、ここに出血が起こる状態を指します(いわゆる網膜出血)。網膜の中でも、特に黄斑という眼底の中心部分に異常が出ると視力に影響が出ます。さらに出血が網膜から手前の硝子体に及ぶと硝子体出血と呼ばれます。出血の原因は網膜裂孔などの眼の構造異常だけでなく、高血圧症・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病や、加齢黄斑変性症などのエイジングが挙げられます。まずは原因となる体の病気があればその治療を行い眼科では必要に応じて内服や硝子体内注射、レーザー治療や手術治療も検討する場合があります。



眼底出血には網膜出血や硝子体出血があります

目の症状がある方、

健康診断やかかりつけ内科で眼底検査を

勧められている方など、目の診察を

ご希望の際には眼科へお立ち寄り下さい。

今後とも宜しくお願い致します。



7名の

ご存じですか？若草第一病院には、

社会福祉士（相談員）と 入退院支援看護師がいます！

私たち相談員は、社会福祉の立場から様々な相談に応じ、患者さんが安心して療養していただけるようお手伝いいたします。

急な病気の発症や怪我により、それまでには考えられなかった生活上の不安や問題が生まれてしまうことがあります。私たちは、患者さんお一人お一人の困り事が、少しでも早く解決できるようお手伝いしたいと考えております。またご家族からの相談にも応じます。

私たちがご相談に応じます
一人で悩まずにお気軽にご相談ください



相談内容の例

- 病気や怪我の予後についての不安
- 医療費や生活費について
- 退院後の生活場所について
- 退院後の在宅生活や在宅サービスの利用について
- 今まで担ってきた家庭内の役割が果たせないことへの不安
- 仕事復帰や将来の経済的な不安
- 同居している家族のことが心配
- 家族として、闘病している患者さんを支えたいがどうすればよいか
- 気持ちの整理ができない、思いを聴いてほしい
- 当院に対するご意見、ご要望 など

相談は無料です。ご相談いただいた内容について秘密は厳守します。

ご相談を希望される際は、直接お越しいただくか、院内のスタッフにお申し出ください。

お電話でのご相談も可能です。

相談窓口：南館1階事務所、各病棟サービスステーション

受付時間：月～土曜日 午前9:00～午後5:00

電話番号：072-988-1409



<入院患者さんに対する相談支援>

当院では、各病棟に担当の相談員を配置しています。

相談員は、院内の医療専門職チームの一員であり、患者さんの病状の経過を確認しながら、退院支援を行っております。患者さんからのご要望がなくても、より早期にお困り事についてお手伝いできるよう、相談員からお声掛けをさせていただく場合もございます。

治療終了後、早期の退院が可能になるよう、治療中の段階から退院先の相談を行います。

対応例

- かかりつけ医や担当ケアマネージャーとの連絡調整
- 入所施設職員との連絡調整
- さらなる療養先への転院調整
- 在宅サービス利用に向けた制度の紹介や利用のための調整
- 各種社会保障制度の紹介や利用支援



コロナ禍により面会制限が継続する中、患者さん・家族さんの心配はより一層大きくなっていると感じます。そのため、ご家族へ患者さんの入院中の様子を伝えたり、患者さん・家族さんの気持ちや思いを代弁して伝えています。

また必要に応じて「退院前カンファレンス」を開催しています。患者さん・家族さん・院内スタッフチーム・在宅スタッフチームが集まり、退院に向けた話し合いを行うことで、密に情報を共有でき、より安心して退院していただけることにつながっていると感じています。

◎がんに特化した相談窓口があります！どなたでも無料で相談できます！

当院は大阪府がん診療拠点病院であり、がんに関する総合相談窓口である「がん相談支援センター」が設置されています。若草第一病院の通院・入院患者さんに限らず、当院にかかっておられない患者さんも相談が可能です。ご家族のみの相談や地域住民の方々からの相談も可能です。ご希望に合わせてお話を伺い、気持ちの整理や情報を集めるお手伝いをします。

がん相談支援センターの啓発活動もしています。1月に開催された「中河内圏域がん診療ネットワーク協議会シンポジウム」(右写真)では、中河内圏域のがん相談支援センターを代表し、がん相談支援について講演を行いました。一人でも多くの方にがん相談支援センターを知っていただき、患者さんが気軽に相談できる窓口でありたいと思っております。

またがん相談支援センターは、患者会の活動をサポートしています。当院にはがん患者会「ひょうたん」があり、これまでがんサロンの開催を行ってきました。コロナ禍により現在は開催を見合わせておりますが、これからも患者さん同士が出会える場、支え合える場を大切にしていきたいと考えております。がんサロンの再開につきましては、ホームページにてご案内いたします。是非ご利用ください。

患者会「ひょうたん」ホームページ

<https://cancer-hyoutan.wixsite.com/kanjyakai>

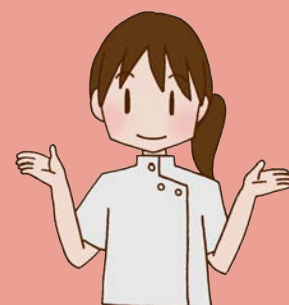


ご自宅への退院に向けた リハビリテーション、支援について



自宅に退院したいけど、こんな状態で生活ができるか不安で、どうしたらいいか…

脳卒中や骨折による後遺症の影響で、退院後のご自宅での生活が心配、また困難な方は少なくありません。当院の回復期リハビリテーション病棟では、そんな患者さんに対して、入院されてからご自宅への退院に向けた支援を行っています。



入院時訪問指導

患者さんとリハビリの目標や心配事を共有し、退院に向けた課題を多職種で検討し、ご自宅の環境に合わせた具体的な目標を立てて、リハビリをすすめていきます。



手すりの位置や入浴方法の検討



ご自宅に応じた入浴の練習



退院前カンファレンス



退院前のご自宅訪問

ご自宅への退院が近づいてくると、担当のケアマネジャーとご自宅での生活の再開に向けた相談が行われることとなります。

患者さんの状態に応じて適切な手すりなどの福祉用具や、ご自宅の住宅改修の必要性などをお伝えさせていただきます。またデイサービスの利用など介護保険サービスの利用についてもご提案させていただきます。

ご自宅での生活再開に向け心配がある場合には、リハビリ職員が退院前にご自宅へ訪問させていただき、退院後の具体的な生活の方法を確認することも可能です。



ご自宅への退院を希望される患者さん、ご家族に、退院後に安心して生活を再開していただけるよう、退院に向けた支援に取り組んでいきたいと思っております。

わかくさ竜間リハビリテーション病院

TEL 072-869-0116

URL <https://www.wakakoukai.or.jp/rihabili/>



リハビリテーション部 作業療法士 永井 信洋・朝川 弘章

NST(栄養サポートチーム) ってなあに？

若草第一病院 栄養課



多職種チームで活動しています

NSTとは、患者さんに最適な栄養療法を提供することを目的とした、多職種からなる医療チームです。当院では全診療科で栄養障害の状態にある、または栄養管理が必要な状態である入院患者さんに対し、専門的知識を有した医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士がチームとなり、活動しています。

食事が十分にとれない患者さんや、下痢が続いているなど、栄養状態の改善が必要な患者さんに対して、各分野の専門職がチームとなる事で情報を共有し、疾患の回復、合併症の予防に有効な栄養管理方法の提案などを行っています。



栄養管理はなぜ必要？

栄養管理は治療の基盤となります。栄養状態が良好であれば治療が円滑に進み、QOL(生活の質)の向上・早期退院にもつながりますが、栄養障害の状態にある人は体力、筋力、免疫力などが低下し、治療の効果がうまく発揮されない可能性があります。

チームの活動内容

- 毎週金曜日にNSTメンバーで病棟回診を行い、対象の患者さんの身体状態を把握し、一人ひとりに対して対応策を協議して適切な栄養療法を選択・実施します。
- 栄養状態・栄養管理方法・栄養評価などを示した栄養治療実施計画書を作成して、患者さん・ご家族さんに栄養治療の内容や経過をご提示しています。



若草第一病院 栄養サポートチーム
栄養治療実施計画 兼 栄養治療実施報告書

患者氏名	患者ID		性別	年齢	入院日		
病棟	主治医		NST患者 担当者		初回回診日		
NST回診 実施者名	医師	看護師	薬剤師		管理栄養士		
	歯科医師 歯科衛生士	臨床検査 技師	PT・OT・ST MSWほか		NST専任者 氏名		
原疾患	褥瘡		嚥下障害	前回回診日			
その他の 合併疾患	感染症		介入病状	回診日			
身長	cm	現体重	kg	浮腫 有 無	BMI: 標準体重 (BMI=22) kg 通常 体重 kg		
栄養 評価	主観的 栄養評価	アルブミン	リンパ球数	ヘモグロビン	中性脂肪	トラスサイチン (TTR:アルブミン)	総合評価 栄養障害の程度

栄養管理法

経口 栄養	普通食	経腸 栄養	経鼻	経 静 脈 栄養	末梢静脈栄養
	咀嚼困難食		胃ろう		中心静脈栄養
	嚥下障害食		腸ろう		該当無し
	学会分類コード		栄養剤の形状		
	濃厚流動食		注入速度		ml/h
該当無し	該当無し	該当無し			

投与組成・投与量

	水分量 (ml/日)	エネルギー (kcal/日)	蛋白・アミノ酸 (g/日)		
前回栄養管理 プラン					
実投与量					
投与バランス					
新栄養管理 プラン					

長く効く薬 ～徐放錠とは？～

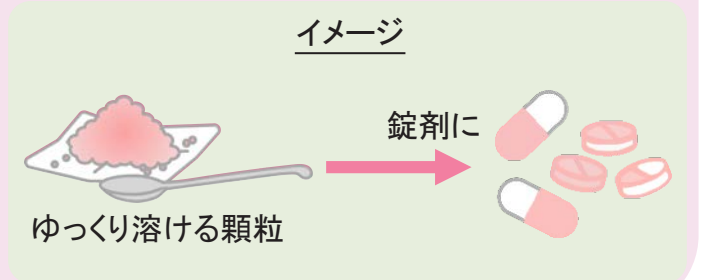
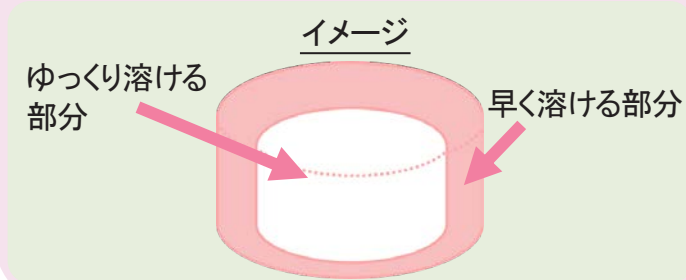
じょほうじょう

徐放錠とは、薬の成分がゆっくりと溶け出し効果が長く続く性質(徐放性)を持つように加工されたものです。そのため1日3回飲まなければいけなかった薬が1日2回、もしくは1回飲むだけで薬の効果が続くようになります。今回はそんな便利な徐放錠についてです。

●徐放錠の種類

①ゆっくり溶ける部分を早く溶ける部分で覆ったもの

②ゆっくり溶ける顆粒を錠剤にしたもの



●徐放錠は名前に特徴がある

医薬品名から徐放性が判別できるものもあります。「R」、「L」や「CR」などのアルファベットが入っているものが多く、「ロング」などが入っている場合もあります。しかしビオフェルミンR錠は普通錠です。ややこしいですね。

例：デパケンR、ムコソルバンL、アダラートCR、テオロングなど

●隠れ徐放錠もある

医薬品の商品名にLやCRなどが入っていない徐放錠もあります。例えば頻尿の治療に用いられるベタニス®錠などが当てはまります。

例：ベタニス®、ヘルベッサ®、ペンタサ®、ディレグラ®など

注意 徐放錠は砕かないで！

徐放錠は砕いてしまうとその特徴である徐放性が失われ、想定よりも早く薬の成分が放出されてしまい薬が効きすぎてしまいます。そのため手で割ったり口の中をかみ砕いたりせず錠剤のまま飲む必要があります。錠剤が大きくて飲み込めない、などお困りの方は一度薬剤師へご相談ください。絶対に自己判断で砕いたり割ったりして飲まないでください。



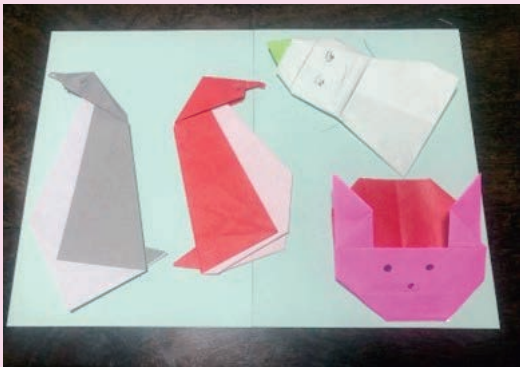


利用者さんの作品を ご紹介します！

わかかさ老人訪問看護ステーション
作業療法士 城山 芳子

「最近是指先がしびれて上手く折れないけど、こんなん作るの好きやねん！」

折り紙作品に取り組む50代女性Aさん。Aさんは若い頃より水頭症、交通事故による高次脳機能障害の影響で物事の考えをまとめるのに時間を要します。また、年々手足の痺れがひどくなり、現在では指先の感覚がほとんど感じられない状況です。もともとは作品作りが好きだったAさんは「何か作りたい！」と作品作りへの情熱は熱く、細部を折るのに苦戦しながら折り紙に取り組まれています。折った折り紙で素敵な作品を作ってくれました。



(作者コメント)

ペンギンが夫婦喧嘩をしているところ
仲裁を雪だるまとウサギがしています。
雪だるまは飛んでるように表現したかった。



(作者コメント)

虫取り網で捕まったセミ。虫取り網は自信作！家にあるもので工夫しました。
何で作ったでしょう？カニはおまけ。



(作者コメント)

カエルの顔は意外と難しかったです。
渋い感じで仕上がりました。



若弘会の介護福祉士の活躍

竜間之郷の介護福祉士に

「介護を選んだ理由&やりがいなど」をインタビューしてみました。



介護老人保健施設 竜間之郷
通所リハビリテーション 鳥飼 優子

●介護職を選んだ理由は何ですか？

高校の時に祖父と母親にすすめられて介護福祉士養成校へ進学しました。在学中、介護を学ぶ中で高齢者への興味が深まり、就職先に高齢者施設を選びました。

●印象に残った患者さんとの関わりは何ですか？

介護福祉士一年目のときに、70歳代で盲目の男性の方を受け持ちました。私は、その方がベッドから車椅子へ移動される際、一人で介助を行いました。しかし、利用者さんがバランスを崩され、支えきれずに二人で転倒してしまいました。幸い怪我は無かったのですが、利用者さんを転倒させてしまったことを後悔し落ち込んでいる私に、利用者さんは優しく声をかけて下さいました。そのとき、私は利用者さんに救われました。そして、介護の仕事には常にリスクがあり、勝手な判断で取返しがつかないことになると知りました。それ以降、私は物事を安易に考えず、慎重に介護を行うようにしています。

●仕事のやりがいは何ですか？

最近の話ですが、失語症の利用者さんとお話していたとき、ことばが出なくても同じものを

見て笑ったり、共感したり、そんなことがとても嬉しくてこの仕事を選んで良かったと思いました。私は利用者さんとのコミュニケーションの中で、些細なことでも一緒に喜び合えるときにとてもやりがいを感じます。

●今後の目標はありますか？

通所リハビリテーションには高齢の方だけでなく、40歳代で子どもがいる利用者さんも通われています。脳梗塞で麻痺になりショックを受ける方もいますが、麻痺になっても悲観することなく、痛みと闘いながらリハビリを頑張って歩行ができるようになる方もいます。今後も高齢者への支援と年齢が若い方の家事や就労に向けた支援も積極的に行っていきたいです。

●竜間之郷のいいところは何ですか？

大きくはふたつあります。ひとつ目は、人です。職員に輪があり、職場の雰囲気の良いところです。ふたつ目は、自然があって、心がリフレッシュできるところです。野外散歩のときの鳥のさえずりと綺麗なお花は本当に最高です。



ナラティブ

～私の心に残る看護体験～

私の理想の看護師像

若草第一病院
南館3階病棟

福田 瑞己



私が看護師を目指したきっかけは、肺癌だった祖母が看護師さんに泣きながら自分の思いを打ち明けているのを見たからです。家では『大丈夫、治るから』と笑顔だった祖母が泣きながら『本当につらい』と話している姿を見ました。祖母の泣いている姿を見たのは初めてで、看護師さんも少し驚いた顔をしていましたが、すぐに祖母の背中をさすって話を聴いてくれていました。それを見て、私も患者さんに寄り添った看護がしたいと思いました。

私が一番心に残っているのは、入職して3か月頃、肺癌末期の患者Aさんを担当しました。Aさんは安静時・労作時と酸素が必要な患者さんでしたが、『自分の事は自分でやりたい』『自分でトイレに行きたい』と希望していました。しかし、段々と車いすに移るだけでもしんどいと訴えるようになり、トイレにかかる時間が長くなっていきました。どれだけ息がしんどくても体に力が入らなくてもAさんの希望は変わらず、私はそれを尊重することしかできませんでした。主治医からこのままでは苦痛が増すため、鎮静を

かける事を勧められていました。Aさんは、鎮静剤の使用の有無や今後どう過ごしたいかなど家族や主治医、看護師と話し合いを希望されました。家族と話し合う日の朝、AさんのSpO₂が急に下がり始め、訪室すると崩れるように倒れかけていました。私は頭が真っ白になり何もできませんでした。Aさんは一度主治医に、「トイレに行きたいと言うと嫌な顔をする看護師がいる」と話をしたことがありました。患者さんは、何も言えず自分の力でトイレに行こうとしたのかとあの時の言葉がよみがえりました。そして、私自身、声をかけにくい雰囲気、態度、対応が適切だったのか、何気ない会話からもう少しAさんの思いを傾聴できなかったのかと振り返りました。

Aさんとの関わりを踏まえ、忙しくても患者さんにそれを感じさせないように時間管理を行い、常に患者さんの思いや悩みを傾聴することを心掛けたいと思いました。また、多職種での情報共有を行うことで患者さんやその家族が望む生活に近づけられるような関わりを行っていきたいです。

これまでの看護経験の中で、今でも心に残っている患者さんとの関わりはどのようなものだったのでしょうか……

心に残る看護実践

わかくさ竜間リハビリテーション病院
竜間棟3階西病棟 高橋 和美



私は約20年間急性期看護に携わってきましたが、その中でも、脳外科病棟で勤務した期間が長いです。脳血管疾患の発症は、若年化し、働き盛りの方の発症も増えています。

私が担当した40歳代の男性Aさんは、高次脳機能障害があり復職を希望されていました。当院入院中は、短期記憶障害(短い間に起きた新しい情報を記憶する脳機能が低下)や見当識障害(時間や場所、人物を正しく認識する機能が低下)などがあり、回復の兆しが見えなかったため復職は厳しいだろうと考えていました。しかし、わかくさ竜間リハビリテーション病院へ転院後、集中的にリハビリを行った結果、復職できた事を担当のリハビリ職員から聞き、驚くと同時に大変嬉しかった記憶があります。その後も同じような報告を聞く度に、回復期の看護に興味を抱くようになりました。そして、2022年3月に、わかくさ竜間リハビリテーション病院へ異動となり、現在、回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。

異動した当初は、急性期と違いリハビリテーションや生活の構築がメインであることに少し戸惑いを感じましたが、働く中で、改めて看護師の役割について考える機会が増えました。急性期もチーム医療が大切ですが、回復期では患者さんの退院後の生活をイメージした目標を多職種と共有しチームで介入することで患者さんの回復につながるということを実感しています。

回復期で勤務することにより、24時間を通して関わる看護師が、生活の再構築を目指す患者さんの回復を左右するのだと思うようになりました。そして、手を差し伸べるだけが看護ではなく、患者さん自身が目標に向かって模索し前に進むことができるように、看護師が支援していくことが大切だと考えています。一人でも多くの患者さんが自己の目標に近づき在宅復帰につなげられるよう、今後も努力していきたいです。



外来表のご案内

若草第一病院 外来担当医表

当院は病診連携のもと、紹介予約を基本としております。
急患につきましてはお電話にてお問い合わせください。

TEL 072-988-1409
FAX 072-982-5425

外来担当医表は都合により変更する場合がございますので必ずご確認のうえご来院ください。

午前診：9:00～12:00

午後診：完全予約制となっており、一部の診察を除き専門外来のみです。

●：紹介のみ、◎：予約制

2023年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	山口 哲央	担当医	松田 達也	木戸岡 紗弓	中本 貴大	坂上 祐司
		岡本 麻知子	霜野 良弘	清水 雅之	小谷 晃平	岸野 恭平	
	消化器内科	岡田 章良	遠山 まどか 診察時間9:30～12:00	岩田 恵典 親泊 智英	岡田 章良	龍華 庸光	瀬川 哲也
	循環器内科	●◎森 益規	●◎森 益規 診察時間9:30～12:00	●◎北崎 和久 ●◎森 益規	●◎森 益規	●◎北崎 和久	武田 徳弘
	呼吸器内科	榎野 吉弘	-	柏尾 誠	姜 成勲	小川 晃一	-
	小児科	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友 診察日第2・3・5週	-
	脳卒中センター	熊谷 哲也	担当医	松井 雄一	畑中 奈保子	熊谷 哲也	担当医
	外科 緩=外科・緩和ケア	中本 博之	山中 英治	北川 克彦	◎◎山中 英治 診察時間9:00～10:00	池側 恭洋 田村 地生	緩 小田 道夫
	整形外科	辻本 由美子	領家 幸治	●◎担当医	領家 幸治	●◎担当医	-
		国村 大樹	国村 大樹		辻本 由美子 診察時間9:30～12:00		
	人工関節センター	-	◎原口 圭司	-	◎原口 圭司	-	-
	肩・スポーツ外来	-	-	-	今田 光一 診察時間9:30～11:30	-	-
	形成外科	担当医 診察時間9:30～12:00	-	西川 侑輝	-	-	-
	皮膚科	-	-	-	中嶋 万季	-	-
	婦人科	-	小林 理章	-	小林 理章	-	金森 崇修
	眼科	青松 圭一	福田 全克 診察時間9:00～11:30	青松 圭一	担当医	◎米田 廣美 診察時間9:00～11:00	-
	泌尿器科	林 知行 診察時間9:00～11:00	中川 雅之 診察時間9:00～11:30	林 知行 診察時間9:00～11:00	-	-	三島 崇生
				原田 二郎 診察日第1・3・5週			
	耳鼻いんこう科	天野 かおり	天野 かおり	天野 かおり	-	天野 かおり	-
	午後	神経内科	-	-	-	◎山口 哲央 診察時間14:00～16:00	-
心血管外科		-	-	-	-	●◎長阪 重雄 診察時間13:30～16:00	-
肩・スポーツ外来		◎今田 光一 診察時間13:00～15:30	-	-	-	-	-
セカンドオピニオン外来		-	◎山中 英治 診察日第2・4週 診察時間15:30～17:00	-	-	-	-
形成外科		担当医	-	西川 侑輝	-	-	-
皮膚科		-	-	-	中嶋 万季	-	-
眼科		-	-	-	◎予約検査	-	-
泌尿器科		◎予約診療・検査 診察時間14:00～16:00	-	◎予約診療・検査 診察時間14:00～16:00	-	-	-

わかくさ竜間リハビリテーション病院 外来担当医表

2023年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	内科	佐藤 修一	杉口 茂	園田 智弘	紙谷 富夫	錦見 俊雄	-
午前 9:00～12:00	歯科	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	-

わかこうかいクリニック 外来担当医表

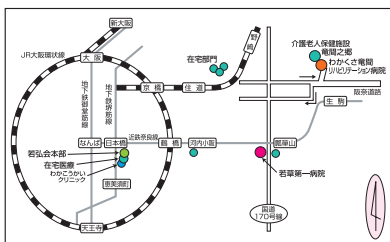
2023年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	外来1診	城村 尚登	城村 尚登	城村 尚登	池岡 直子	城村 尚登	西口 修平
	外来2診	-	-	西口 修平	-	-	-
午前 9:30～12:00	腹部エコー検査	池岡 直子	-	-	-	-	康 典利(第2・第4)

社団の理念

最高の医療を提供し、
地域社会の健康と健やかな
人生に貢献します

当社は、東大阪市を中心に
機能や特質の異なる施設を擁し、
急性期医療から在宅療養にいたる
医療ネットワークを展開しています。



広報誌 わかくさ 2023年 No. 122

発行：社会医療法人 若弘会
大阪市浪速区日本橋4-7-17
発行日：2023年4月14日

ホームページを開設しています。
<https://www.wakakoukai.or.jp>
e-mail: info@wakakoukai.or.jp

広報誌わかくさの表紙を飾るお写真や
コラム、またご意見、ご感想などがご
ざいましたら、お待ちしております。

メールアドレス
QRコード

社団ホームページ
QRコード